

1	英語Ⅱ（j）	月曜
2	英語Ⅱ（f）	火曜
【講師】 川浪 一也		
（j）9月29日～・毎週月曜日 5時限目（16：10～17：40）		
【日時】 （f）9月30日～・毎週火曜日 2時限目（10：20～11：50）		
【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円		
【講義内容】 中級		
高校卒業レベル中級程度（英検準2級）		
【テキストについて】		
『Listen up talk back book 2』（James Bean・鎌倉義士、成美堂/2,300円＋税） あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。		
【オンラインツールについて】		
講師とEメールでやりとりすることがあります。		
【選考方法】		
受講希望の理由書（200字程度）により決定		
【注意事項】		
（j）と（f）は同じ講義内容となりますので、どちらか1講座をお申込みください。		

4	English for Global Business IV
【講師】 岡崎 紀久子	
【日時】 10月1日～・毎週水曜日 3時限目（12：50～14：20）	
【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円	
【講義内容】	
TOEIC Listening & Reading Testのテスト形式に倣った演習問題を解くことによって、ビジネス社会における英語を用いたコミュニケーションの基礎となる語彙・文法力を培います。また、ビジネスの現場で必要とされる情報収集力の育成に役立つ解法のストラテジーについても学びます。TOEIC700程度を達成目標としますので、 <u>英検2級程度の英語力が必要です</u> 。	
【テキストについて】	
『Key Strategies for Success on the TOEIC® L&R Test: Level 600[Second Edition]』（西谷敦子ほか（著）、朝日出版社/1,900円＋税） あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。	
【選考方法】	
受講希望の理由書（100文字程度）により決定	

3	英語学概論Ⅱ
【講師】 村尾 治彦	
【日時】 10月1日～・毎週水曜日 1時限目（8：40～10：10）	
【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円	
【講義内容】 専門	
英語表現の意味もしくはその使用的側面に焦点をあて、認知と言語の関係を考えながら、様々な現象の背後に潜む規則性を考察していきます。認知意味論では特定の表現形式と英語母語話者の認知の仕方の関係や、日本語らしい表現、英語らしい表現を考察します。さらに言語使用の側面において、会話の含意や原則などを扱います。	
【選考方法】	
受講希望の理由書（100文字程度）により決定	

5	Junior Seminar B-Ⅱ
【講師】 萱嶋 崇	
【日時】 10月1日～・毎週水曜日 4時限目（14：30～16：00）	
【募集人数】 3名まで 【受講料】 5,000円	
【講義内容】 専門	
この授業では生成文法の枠組みのもと、英語の様々な構文を考察する。生成文法は絶えず理論が発展しており難解なイメージを持たれがちだが、ここではあまり理論に深入りせずに様々な「英文法のふしぎ」を考えていく。高校英語では触れられない英文法の知識を得たり、当たり前のルールとして教えられた英文法の背景にある原理、原則を発見することができる。	
【テキストについて】	
『英語の主要構文』（中村捷、金子義明[編]、研究社/2,800円＋税） あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。	
【選考方法】	
抽選により決定	

6 英語 VI (d)

【講師】	李世恩
【日時】	10月2日～・毎週木曜日 3時限目(12:50～14:20)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	中級/一般教養

この授業は、リーディングスキルを向上させることを目標としています。TOEICのリーディングセクションに焦点を当て、さまざまなテキストを読んで、TOEICのスコアアップも目指します。

【テキストについて】

使用テキストは、受講手続・説明会にてご案内いたします。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書(100文字程度)により決定

7 中国語発展Ⅱ a

【講師】	山田 俊
【日時】	9月26日～・毎週金曜日 2時限目(10:20～11:50)
【募集人数】	5名まで
【受講料】	5,000円
【講義内容】	中級/一般教養

台湾の作家・三毛のエッセイ(原書、ピンインや注釈なし)を担当を決めて翻訳していく。中国語の生の文を読むので、中級程度の中国語力が必要です。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書(200文字程度)により決定

8 中国語発展Ⅱ b

【講師】	岡村 真寿美
【日時】	9月26日～・毎週金曜日 2時限目(10:20～11:50)
【募集人数】	5名程度
【受講料】	5,000円
【講義内容】	準中級

中国語を1年程度学んだけれども、まだ十分身につけていないという人向け。
検定試験4級～3級程度の内容。

【テキストについて】

『続・中国語でおもてなし』(おもてなし中国語教材開発研究チーム[著]、/2,300円+税)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

Microsoft Teamsを使用する場合があります。
講師とEメールでやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書(100文字程度)により決定

9 中国語基礎－b 週2回

【講師】	岡村 真寿美
【日時】	9月26日～・毎週木・金曜日(週2回) 1時限目(8:40～10:10)
【募集人数】	5名程度
【受講料】	10,000円
【講義内容】	初級

前期「中国語入門B－b」の続きです。中国語を半年程度学んだことのある人を対象とします。中国語の基本パターンを基礎として、より複雑な文法を学んでいきます。

【テキストについて】

『中国語への道【初級編】—近きより遠きへ—改訂新版』(内田慶市ほか[著]、金星堂/2,500円+税)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

Microsoft Teamsを使用する場合があります。
講師とEメールでやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書(100文字程度)により決定

10

日本語史Ⅱ

【講師】米谷 隆史

【日時】9月29日～・毎週月曜日
2時限目（10：20～11：50）

【募集人数】若干名 【受講料】5,000円

【講義内容】専門

日本語の音韻の歴史を学びます。録音機器による日本語音声の記録は百年程前のものがあるだけです。過去、過去の日本語の音を知らせてくれる文献資料にはどのようなものがあるのかを理解していくことが中心となります。日本語学と日本文学史の基礎、前期開講の日本語史Ⅰの内容を理解していることを受講の前提とします。

【テキストについて】

『国語史を学ぶ人のために』（木田章義〔編〕、世界思想社/2,900円＋税）

あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【選考方法】

受講希望の理由書（200文字程度）により決定

11

現代日本語の分析

【講師】小川 晋史

【日時】10月1日～・毎週水曜日
4時限目（14：30～16：00）

【募集人数】若干名 【受講料】5,000円

【講義内容】専門

日本語（共通語）を分析する視点や方法について学びます。本学では2年生科目として位置づけられているので、先に1年生の科目である日本語学概論Ⅰを受講されることをお勧めします。日本語学概論を受講していないことを理由に本科目の受講生として受け入れないということはありませんが、お勧めしておきます。

【テキストについて】

『新しい日本語学入門 ことばのしくみを考える 第2版』（庵功雄〔著〕、スリーエーネットワーク/2,000円＋税）
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【選考方法】

受講希望の理由書（200文字程度）により決定

12

近代文学史

【講師】五島 慶一

【日時】9月29日～・毎週月曜日
4時限目（14：30～16：00）

【募集人数】若干名 【受講料】5,000円

【講義内容】専門

本講では、明治期を中心にほぼ時系列に沿って近代文学史上の幾つかの項目を追い、創作活動の背景として存在する個人及び社会的動機に関して改めて確認することで、作家や作品への理解を深める一助とします。特段の予備知識は必要ありませんが、内容は専門的なところまで踏み込むことがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書（200字程度）により決定

13

地域文献講読Ⅱ

【講師】鈴木 元

【日時】10月1日～・毎週水曜日
5時限目（16：10～17：40）

【募集人数】若干名 【受講料】5,000円

【講義内容】専門

熊本藩藩士の井沢蟠龍には、写本のみで伝わる著述もあるものの、幾つかの版本著作がある。印刷され本屋を通して流通したそれら著作の一つ、『旧説拾遺』という説話集を読む。収録された説話の情報源や、説話配列の意図、歴史的背景など、解説を加えながら読み進める。

【選考方法】

受講希望の理由書（100字程度）により決定

14 英米文学多読入門

【講 師】	吉田 希依
【日 時】	10月2日～・毎週木曜日 5時限目 (16:10～17:40)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000 円
【講義内容】	一般教養

翻訳を用いて英米文学作品を多読する、英米文学の入門として位置付ける授業です。ジャンルを問わず多くの作品に触れることで、小説の読み方を学びます。受講生の人数にもよりますが、学生の発表形式で進める予定です。

【 テキストについて 】

『アメリカン・マスターピース 準古典篇』（柴田元幸、スイッチ・パブリッシング /2,400 円＋税）
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【 オンラインツールについて 】

講師と E メールでやりとりをすることがあります。

【 選 考 方 法 】

受講希望の理由書（200 文字程度）により決定

15 日本文化論Ⅱ

【講 師】	羽鳥 隆英
【日 時】	9月26日～・毎週金曜日 4時限目 (14:30～16:00)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000 円
【講義内容】	一般教養

熊本藩細川家に由縁の元禄赤穂事件（1701 年～1703 年）に取材した「忠臣蔵」の歴史を概説します。日本語を活用した文学、演劇、演芸、映画などの様々な媒体を議論の対象に設定し、「忠臣蔵」と日本社会、特に近代日本社会の相関性を議論します。

【 オンラインツールについて 】

予習に動画（インターネット環境があればご視聴いただけるサイト）を活用する場合があります。

【 選 考 方 法 】

受講希望の理由書（200 字程度）により決定

16 人間と芸術

【講 師】	永田 郁
【日 時】	9月29日～・毎週月曜日 3時限目 (12:50～14:20)
【募集人数】	10 名まで
【受講料】	5,000 円
【講義内容】	一般教養

本講義は「人間と芸術」というテーマのもと、人間が社会の中でいかなる芸術もしくは視覚的イメージを創造したか、また人間にとって芸術・視覚的イメージがどのように使われ、理解されてきたかについて、日本を含むアジア世界及び西洋世界の具体例を取り上げ、探っていく。

【 オンラインツールについて 】

講師と E メールでやりとりをすることがあります。

【 選 考 方 法 】

抽選により決定

17 建築環境工学Ⅱ

【講 師】	辻原 万規彦
【日 時】	9月26日～・毎週金曜日 1時限目 (8:40～10:10)
【募集人数】	数名程度
【受講料】	5,000 円
【講義内容】	専門

建築環境工学のうち、空気環境、光環境、音環境に関する基礎事項を平易に解説する予定です。知識だけにとどまらず、ものの見方や考え方も学べることを目指します。理解を深められるように、できるだけ毎回演習問題を出題する予定ですので、関数電卓が必要です。高校卒業程度の数学、物理の知識があることを前提とします。

【 テキストについて 】

『図説 やさしい建築環境（第4版第2刷 2024 年 3 月発行）』（今村仁美・田中美都 [著]、学芸出版社 /2,800 円＋税）
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【 オンラインツールについて 】

Microsoft Teams を使用する場合があります。
講師と E メールでやりとりをすることがあります。

【 選 考 方 法 】

受講希望の理由書（200 字程度）により決定

18 家庭機械・電気

【講師】 齊藤 弘順

【日時】 9月29日～・毎週月曜日
4時限目（14：30～16：00）

【募集人数】 10名まで 【受講料】 5,000円

【講義内容】 一般教養

石油資源枯渇や地球温暖化など、もはや市民レベルで意識しなければならない課題です。普段の生活でも多くの家電製品を使用していますが、省エネや環境保全の観点から、賢く家電製品を使用するためには、その動作原理をしっておくと便利です。本講義では、中学校の理科で学習する内容をベースに各種家電製品の動作原理を解説します。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでのやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書（200字程度）により決定

19 地域景観計画学

【講師】 柴田 祐

【日時】 10月2日～・毎週木曜日
2時限目（10：20～11：50）

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

景観の概念、景観形成の視点、まち並みと農村景観の構成要素、景観施策、景観まちづくりなどについて、全国各地の具体的な事例を通して学び、地域景観は、景観を構成する様々な要素と、そこでの人々の生活との関わりの中から成立していることを理解する。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでのやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書（200字程度）により決定

20 環境設備学

【講師】 栗原 広佑

【日時】 10月2日～・毎週木曜日
3時限目（12：50～14：20）

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

人間が快適かつ健康に生活するために欠かせない熱・空気環境と水環境をコントロールするための建築設備の概要について解説します。また、建築設備の運用に関する省エネルギー化や自然エネルギーの活用といった環境共生手法に関しても解説を行います。

【選考方法】

受講希望の理由書（200字程度）により決定

21 比較住文化論

【講師】 高橋 浩伸

【日時】 10月2日～・毎週木曜日
2時限目（10：20～11：50）

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

世界に目を向けると、単に住空間といっても実に多様な様相を見せる。この多様なかたちを規定する要因として、気候や地形、生業形態、建築材料、家族や社会組織、それに信仰や思想などが影響している。これら世界中の特徴的住空間を読み解き、更に日本の住文化との比較検証を行うことで、今後（未来）の住空間の在り方を考える。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでのやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書（200字程度）により決定

22 建築構造の基礎

【講師】	李 麗
【日時】	10月2日～・毎週木曜日 2時限目（10：20～11：50）
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000 円
【講義内容】	専門

建築構造に関する基本的な事項を学ぶ。構造の種類・形式、荷重の種類、力の合力・分力、反力、応力を理解し、片持ち梁・単純梁の反力、応力の求め方および応力図の描き方、断面二次モーメント・断面係数、応力度の求め方を学習する。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでのやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書（200字程度）により決定

23 憲法Ⅱ

【講師】	佐藤 雄一郎
【日時】	9月26日～・毎週金曜日 4時限目（14：30～16：00）
【募集人数】	10名程度
【受講料】	5,000 円
【講義内容】	専門

日本国憲法の統治機構について講義します。具体的には、国会、内閣、財政、地方自治、天皇制、平和主義、裁判所について、現実の政治状況と照らし合わせつつ、詳しく講義します。

【選考方法】

受講希望の理由書（200字程度）により決定

24 現代社会と企業

【講師】	池内 秀己
【日時】	10月1日～・毎週水曜日 3時限目（12：50～14：20）
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000 円
【講義内容】	一般教養

現代社会を理解するために絶対不可欠な社会的制度、それが企業である。「20世紀は企業の時代」「20世紀文明は企業文明」といわれる。19世紀から20世紀、21世紀に至る「企業変容」は、現代社会や私たちの暮らしのありようを大きく変え、空前の経済的繁栄と豊かな生活を実現するとともに、地球規模の環境破壊をももたらした。他方、ロシアのウクライナ侵攻や中東情勢、トランプ相互関税により、企業戦略の転換が余儀なくされる現実もある。

◆経済・ビジネス系学生やビジネスマンに限らず、現代人にとって必要な「教養としての経営学」として「現代社会と企業」を講じる。

【テキストについて】

『企業論（第4版）』（三戸浩・池内秀己・勝部伸夫、有斐閣 / 2,100 円 + 税）

【オンラインツールについて】

講師とEメールでのやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書（文字数は問わず）により決定

25 生命倫理と法

【講師】	江崎 一朗
【日時】	10月1日～・毎週水曜日 3時限目（12：50～14：20）
【募集人数】	10名程度
【受講料】	5,000 円
【講義内容】	一般教養

テーマ「いのちの意味を考える」

生命倫理における多様な問題について考察する。『生命倫理学を学ぶ人のために』を解説することを通じて、私たちが近代的市民として身に着けるべき生命倫理と法に対する認識を深める。

※受講生の理解度や要望、講義の進捗状況等により適宜、変更あり。

【テキストについて】

『生命倫理学を学ぶ人のために』（加藤尚武・加茂直樹 編、世界思想社 / 2,300 円 + 税）
あらかじめ上記テキストを入手、持参すること。

【オンラインツールについて】

Microsoft Teams を使用することがあります。
講師とEメールでのやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書（文字数は問わず）により決定

26 地域づくりと協働

【講師】 澤田 道夫

【日時】 10月1日～・毎週水曜日
4時限目 (14:30～16:00)

【募集人数】 10名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 中級／専門

協働とは国や県、市町村などが行う様々な行政活動に人びとが参加し、行政と力を合わせていくことでより良い地域を作り上げていく取組です。本講義では地方自治に関する基本的な知識を踏まえ、地域づくりにおける協働の持つ意義と協働を進めるための条件について理解を深めることを目標とします。

【テキストについて】

『真・自治行政構想の奇跡』（荒木昭次郎・澤田道夫、敬文堂 /2,600円＋税）
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【選考方法】

抽選により決定

27 アジア地域論

【講師】 高埜 健

【日時】 10月1日～・毎週水曜日
2時限目 (10:20～11:50)

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

成長著しい地域として注目されるアジアを経済面以外からも包括的・多角的に理解しようと試みる。また、「アジアの一員」である日本と日本人について改めて考える。具体的には、「アジア」の過去と現在について学習し、アジアの文化的共通性を見出し、将来におけるアジアの新たな可能性を探る。

【テキストについて】

授業開始後に担当講師よりお知らせいたします。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書（300文字程度）により決定

28 原価計算論

【講師】 望月 信幸

【日時】 9月26日～・毎週金曜日
2時限目 (10:20～11:50)

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

本講義では、原価計算の意義および目的を理解し、原価計算の理論的アプローチおよび計算手法について講義します。最終的に、原価計算の理論を学ぶことに加え、全経2級工業簿記、さらには日商2級工業簿記程度の知識習得を目標としています。なお、講義の中で計算を行うことが多いため、毎回必ず計算用具を準備してください。

【テキストについて】

『テキスト原価会計 第3版』（高橋賢、中央経済社 /2,300円＋税）
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【選考方法】

受講希望の理由書（200文字程度）により決定

29 アルゴリズム論

【講師】 金井 貴

【日時】 9月30日～・毎週火曜日
3時限目 (12:50～14:20)

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

アルゴリズムとは、問題を解決するための手順のことである。本講義では、情報処理を効率的に行うために必要とされる、様々なデータ構造とアルゴリズムについて学ぶ。

【テキストについて】

『Pythonで学ぶアルゴリズムとデータ構造』（藤原暁宏、森北出版 /2,600円＋税）
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【選考方法】

抽選により決定